

災害概略シート

項 目	内 容
災害の名称	1982長崎豪雨災害
災害の種別	風水害(豪雨)
概 要	低気圧と梅雨前線に伴う豪雨(昭和57年7月豪雨)により、土砂災害及び河川災害が発生。
時 代	現代
発生年月日	1982年(昭和57年)7月23日~25日
発生場所	長崎県(昭和57年7月豪雨は西日本を中心に各地で被害が発生。特に被害が大きかった長崎県における災害が「長崎豪雨災害」と呼ばれている。)
被災規模	(人的被害)死者・行方不明者299人、重傷者16人、軽傷者789人 (物的被害)全壊584棟、半壊954棟、一部破損1,111棟、床上浸水17,909棟、 床下浸水19,197棟 <被害額総計>約3,153億1千万円(いずれも長崎県内)
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎市中心部の都市水害と主に郊外部に発生した土砂災害の二面性をもつ。 ・ソフト対策の一層の強化など土砂災害への新たな取組みの契機となった。 ・地下室等の冠水、自動車運転者の被災など都市・交通機能の弱点が露呈。 ・地域住民等の参加を得た公開の委員会において復興の計画が策定された。